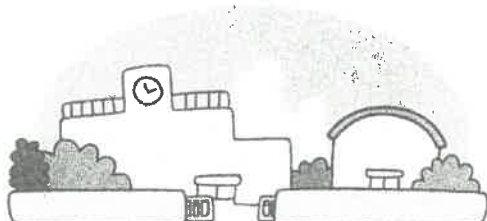


センター通信

「豊かな心」



伊丹市立北中学校
校長 早崎 潤

「豊かな心の育成」、教育の分野でよく登場する言葉です。

かつて、3年生の修学旅行を引率した時のことです。一日目の行程を終えた夕刻、修学旅行をサポートしてくれた旅行会社のスタッフの方が、少し驚かれた表情で話しかけてくれました。「生徒の皆さんは、いつもこんなに礼儀正しいのですか。」「こんなに整然と行動できる学校とご一緒したのは初めてです。」「制服をきちんと着こなしていて、見ているこちらが襟を正さないと思ってしまいます。」と。また、二日目にはこんなことも言われました。「港や観光地で出会ったガイド仲間から、案内しているのはどこの学校ですかと聞かれます。」と。スタッフの方は、生徒の行動を見て、また、一緒に旅を共にして、「素晴らしい」という賛辞の連続でした。しかし、この生徒たちが、はじめからこのような行動をとれていた訳ではありませんでした。1年生の時に行った林間学校では、「早く並びなさい」「静かにしなさい」などと先生方から、指導を受けることが多くありました。修学旅行で、ご一緒した旅行会社のスタッフの方の言葉は、私自身、3年を経て「大きく成長したんだ」「社会に出ても通用するな」と感じさせてくれた印象的な言葉でした。

昔から言われている格言にこんな言葉があります。

「心は形を求め 形は心を進める」

心を整えたくても心そのものは形を持ちません。所作や行動といった目に見えるものの形を整えることで心を整えることができるものです。

形にこだわれば、ともすれば厳しすぎる、そこまで指導しなくてもとお叱りを受ける、また生徒たちから「そんなことできない」「すごくしんどい」と弱音を聞くこともあります。

いにしえより脈々と培われてきた日本の文化は形にこだわってきました。武道ばかり、茶道も華道も、およそ「道」とつくものはすべて。その形は、先人達が切磋琢磨した営みの中から生まれたものです。そして形を稽古します。形の稽古から何を学んでいるかという、その心を学んでいるのです。美しい所作やふるまい、素晴らしい行動、すなわち形は心の表れです。

生徒たちが修学旅行で、見せてくれたものは形でしたが、スタッフの方は、その形に心を感じたのです。かくいう私も生徒たちの行動を見て、心揺さぶられました。

「心」は内面・内なるもの、「形」は外面・外なるもの。「形」がひずめば、「心」はゆがみ、「形」を正せば、「心」は豊かに。そして、その逆もまた然り。

時代を経ても、子どもたちの心が豊かに育つことを願います。

補導活動 — 暫定値 —	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人	相談活動	
					電話相談	来所相談
あいさつ	25329 (24651)	2284 (2241)	1119 (942)	5207 (5448)	38 (35) 件	54 (35) 件
声かけ / 会話等	3939 (4563)	603 (888)	289 (567)	928 (1319)	7 (10) 件	
(内) 遊びに関すること	58 (99)	27 (87)	32 (44)	0 (0)	有害図書回収状況	
問題 交通に関すること	112 (261)	31 (69)	52 (87)	131 (153)	有害図書	1403 (1225) 冊
行動 その他	47 (65)	27 (26)	50 (21)	23 (22)	有害AV等	3585 (3292) 個

補導活動について

・新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、公園や広場など街頭に子どもたちの姿が戻ってきたこともあり、あいさつに関しては前年同期に比べ増加している。一方、声かけ・会話等に関しては減少している。

・声かけの内の問題行動として顕著であったのは交通に関するものであった。特に登下校時に道いっばいに広がって通行する小学生に注意の声かけを行った。また、自転車の無灯火について、点灯の声かけを行った。対象者別にみると無灯火の8割近くを大人が占めており、事故防止のためはもちろんのことですが、大人が子どもたちへの良いお手本になりたいものです。

余談ですが…先日、少年補導委員さんと一斉補導を行いました。ちょうど児童の下校と重なる時間帯で、「おかえりなさい。」「ただいま。」といったあいさつが主でしたが、あいさつを交わす時の子どもたちは笑顔であふれていました。中には、日頃から見知った少年補導委員さんに近づき、学校での出来事を話し始める子もいました。絵の具の入ったカバンを自慢そうに披露してくれる子もいました。しかし、一方で伊丹警察署管内で窃盗等の非行で検挙される少年が増加傾向にあるとも耳にしています。(伊丹警察署より) 少年補導委員さんだけでなく、近所の見知った大人からのあいさつの一言が雑談に繋がります。ちょっとした雑談から会話、会話から打ち明け話や悩み相談等々、交わす日々の一言・かける一声が非行防止に繋がっていくのではないかと感じた一斉補導でした。

相談活動について

・電話相談件数は前年同期と比べ横ばい状態で、メール相談件数は減少傾向にある。一方、来所相談件数が増加傾向にある。

・電話での相談内容として一番多かったのは「家庭・子育て」(15件)に関する相談で、次いで「不登校」(11件)に関する相談が多かった。一方、来所相談では「非行・不良行為」(24件)に関する相談が最も多く、次に多かったのは「家庭・子育て」(13件)、「不登校」(11件)に関する相談であった。

お子さんに関して何かご心配事等がありましたら、右記、相談窓口へ気軽に相談ください。



子どもと保護者のためのなやみ相談窓口

<電話相談> ☎ 072-770-8742

月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 10:00～17:30

<来所相談> (要予約) ☎ 072-780-3540

月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 10:00～17:00

<メール相談> aigo@itami.ed.jp

または、当センターHPのメールフォームをご利用ください

白ポスト設置場所【市内13ヶ所】

- ・車塚公園
- ・中野西公園
- ・裁判所前
- ・伊丹ホール
- ・南センター
- ・北センター
- ・阪急伊丹駅
- ・JR伊丹駅
- ・JR北伊丹駅
- ・西桑津バス停
- ・山田バス停
- ・荒牧バス停
- ・バラ公園バス停

有害図書回収状況について

白ポストは青少年に有害な図書類を回収するポストです!

- ・市内13か所に白ポストを設置し、月に1度回収を行っている。
- ・令和2年度をピークに減少傾向にあったが、今年度増加に転じている。
- ・無害図書は年々減少はしているが、268冊(今年度2月末)を回収した。

ひょうご防犯ネット情報 (2/1~2/29 掲載分)

日	時刻	場 所 (事 案)	概 要	一 行 為 者 確 保 ・ 警 告 等 が あ っ た も の に は ☆ 印
18	23:10	瑞ヶ丘1 (つきまとい)	男が徒歩で帰宅中の成人女性の横を数十メートルにわたりつきまとった。「ここから歩いて帰っている」と声をかけたもので、女性がコンビニに入り助けを求めたところ、いざいかに立ち去った。	
20	15:30	山田2 (声かけ)	徒歩で下校中の女子小学生に対して、徒歩の男が「こっちへおいで」と声をかけ手招きした。小学生が無視をしていると、いざいかに立ち去った。	
20	16:30	北野3 (不審者)	保護者と徒歩で通行中の女子幼児に対して、男が近づいて突然ハイタッチを求め、しばらくつきまとった後いざいかに立ち去った。	
27	14:50	緑ヶ丘1 (声かけ)	徒歩で通行中の女子小学生に対して、自転車に乗車した男がすれ違いざまに「家どこ」と声をかけた。怖くなった小学生が無視をしていると、男は西方向へ去った。	
28	14:30	荻野6 (つきまとい)	徒歩で通行中の成人女性に対して、男が無言でしばらくの間つきまとった。怖くなった女性が付近の建物に逃げ込んだところ、男はいざいかに立ち去った。	

<3月の主な行事>

- 6(水) 県青少年補導委員連合会
第3回 会長・副会長会
- 7(木) 伊丹市少年補導委員連合会
役員会・定例理事会
- 11(月) 広報啓発活動・一斉補導



- 22(金) 第2回 少年愛護センター運営協議会
- 25(月) 有害図書回収

- (随時) 街頭補導活動 (各小学校区)
- 中学校区内補導活動 (各中学校区)
- 電話・来所・メール相談 (愛護センター)

*「センター通信」へのご意見ご感想は伊丹市立少年愛護センター (TEL 072-780-3540) までお寄せください。